

岳岱自然観察教育林

岳岱自然観察教育林は、白神山地の環境史において、一見矛盾しているように見える 2 つの側面を見せてくれる。それは、ブナの原生林と広大な材木場である。秋田県は、杉の非常に貴重な品種である秋田杉で知られ、伐採会社は白神山地で何世紀にもわたって活躍してきた。戦後の大規模な森林再生プロジェクトにより、地域の森の多くが杉の木に植え替えられたが、白神山地の核心地域の多くは、その人里離れた立地から、プロジェクトの対象とならずに済んだ。

岳岱自然観察教育林のまわりのブナの木も多くは、約 70 年前に杉に植え替えられた。しかしそれ以来、材木場は散発的にしか維持されておらず、ブナは徐々に復活しつつある。奥へ進んだところにある、伐採が行われなかった場所にはブナの原生林があり、そこには白神山地で最も古い樹木の一つである、樹齢 400 年と推定されるブナの老木がある。

植林や伐採によって自然の遷移が妨げられることがなかったブナの原生林では、多くの異なる世代のブナが並んで生えている。枯れて腐敗した老木は栄養豊富な土壌を作り、そこから若い樹木が何世紀にもわたる一定の周期で生長する。これらのブナ林は、日本の自然風景を体験する絶好の機会を与えてくれる。実際、岳岱自然観察教育林は、スタジオジブリがアニメ映画「もののけ姫」を制作した際に、視覚的参考の 1 つとして使用された。